

A scenic view of a rocky coastline with clear turquoise water and a blue sky. The water is exceptionally clear, revealing the seabed and various rocks. The sky is a vibrant blue with a few wispy clouds. The overall scene is bright and sunny.

令和5年度（2023年度）

第1回北海道地学協働推進活動推進会議

生涯学習推進局社会教育課

★本日の予定★

- 1 道教委の地学協働活動について（説明）
- 2 協議（グループ協議）
テーマ「地域における地学協働体制を
構築するための方策について」
- 3 全体交流

1 道教委の地学協働について

■北海道地学協働推進活動推進会議

- 「地学協働活動」の充実を図るための方策について検討し、
地方創生の推進を図ることを目的

(令和5年度北海道地学協働推進会議設置要綱令和5年4月17日改正)

- 市町村教委、学校、民間企業など **8名**の構成員

- 年間3回（1回目7月、**2回目1月**、3回目3月）

→年間のまとめ



「北海道地学協働アワード2023」予備審査

1 道教委の地学協働について

■北海道CLASSプロジェクト～最終年度

北海道CLASSプロジェクト研究指定校(推進校)の取組

北海道当別高等学校

当別独自の持続可能な地域づくりの担い手の育成

Point コーディネータ機能を活用し、
地域資源(人・もの)を活かした実践

【具体的な取組】(一部)

- 1年目
- プロジェクト推進チーム、コンソーシアムの立ち上げ、当別高校に対する意識調査の実施
 - 「総合的な探究の時間」カリキュラムの検討
- 2年目
- 「当別TANKYUプラン(仮称)」本格導入
 - 深く地域を知るためのフィールドワークの実施
 - コース設定はコーディネーターが立案・調整
 - 学んだ内容を伝えるプレゼン動画とポスターの作成、訪問先をPRするCMの作成
- 3年目
- 「総合的な探究の時間」を軸とした当別町と当別高校の持続的な連携・協働体制の確立
 - 振興局との連携強化

生徒の自己実現と地域社会への貢献を見据えたキャリア選択ができる力の育成

北海道白老東高等学校

地域課題探究型カリキュラムの研究開発

Point 地域との調整をコーディネーターが担い、
コンソーシアムが各所へ協力を要請

【具体的な取組】(一部)

白老町の魅力や課題は何だろう

- ・アイヌ文化、ウポポイ、地域の商店街、観光、産業…

白老町を改めて知ろう

- ・名古屋外国語大学と連携したフィールドワーク
- ・ウポポイ等と連携した アイヌ文化の体験

白老町の抱える課題の解決策を探ろう

- ・アイヌ文化や商店街をPRする動画の作成

もっと多くの人に白老町を知ってもらうためには…

他者と協働して課題を探究する学びの力の育成

北海道上富良野高等学校

地域に根差した高校づくりと社会に貢献できる人材の育成

Point 地域(ジオパーク)の素材を用いた
探究活動の基礎とプロセスを学ぶ実践

【具体的な取組】(一部)

- 地域探究基礎(1学年) 十勝岳ジオパーク推進協議会との連携
- ・十勝岳ジオパーク探究(調査方法を学ぶ)、探求チャレンジ(課題解決に向けた仮説、検証方法を学ぶ)、発表会(発表方法を学ぶ)
- 地域探究発表会(2学年)
- ・全校生徒、保護者、コンソーシアムのメンバーに対するポスター発表と質疑応答
- 提言発表会(3学年)
- ・町長、町役場職員に対し、まちづくりに関する提言と意見交流
- 校内研修(教員)
- ・「本校の探求プログラムの課題」についての研修を行い、教員のスキルアップを図る

総合的な探究の時間・学校設定教科「地域探究」による地域リーダーの育成

北海道帯広三条高等学校

生徒と地域の大人が協働する学習プログラムの構築

Point コーディネーター・コンソーシアムが
学校と地域の主体をコネクト

【具体的な取組】(一部)

地域在住の外国人との連携

大学との連携

福祉を知り医療を考える
(地域医療の課題に迫る)

Sanjo Global Gateway
(ネイティブスピーカーとの交流)

美術館との連携

対話型美術鑑賞
(実際の美術作品を活用したWS)

市役所との連携

住民の政治参加と地域づくり
(自分たちに何が出来るか考える)

生徒が地域の様々な人材と関わりながら探究的に学ぶ中で、
自らの生き方や世の中の在り方を主体的に考える力の育成

1 道教委の地学協働について

■北海道CLASSプロジェクト～最終年度

令和4年度の実施成果報告書から

研究指定校の昨年度の実施成果報告書から、主な内容を抜粋しました。

生徒・教員の意識の変容

- ・アンケートでは、町への理解・興味・認知度・町民との関わりについて上昇（当別高校）
- ・外部人材が入ることで探究が進んだと答えた教員がほとんどであり、外部人材の活用の抵抗感は低くなった。（帯広三条高校）
- ・生徒による授業評価で「主体的・協働的な授業をしている」との回答が4ポイント満点で3.54ポイントと上昇（夕張高校）
- ・探究コーチ（地域人材）の存在は、日常的に生徒が外部の大人と関われるため、成長につながる。教員の負担軽減にもつながっている。（本別高校）

組織・取組みについて

- ・コンソーシアム会議では、生徒の発表姿勢を評価する声が出るなど、活動や生徒について意見交換した。（上富良野高校）
- ・「地域学」を全教員・全生徒を対象に3年間継続して取り組むようにした。（白老東高校）
- ・必要に応じてコンソーシアム参加の団体の協力を得ながら進めた（鷗川高校）
- ・町の地学協働活動本部と連携し、高校生が小学生の学習補助を行った。（豊富高校）

<北海道CLASSプロジェクトに関わる人々の声>

地域をフィールドにした学習活動の拡充により、生徒の学習意欲の向上や地元への愛着の高まりにつながり、学校と地域における相互の好循環が生まれています。



1 道教委の地学協働について

■北海道地学協働アワード2023

- 優れた地学協働体制を評価
- 自薦のみ
- 予備審査（令和6年1月）
 - 6校程度を選出（**構成員・アドバイザー等**）
- 発表会・本審査・表彰（令和6年2月16日）
 - ① YouTubeライブで当日の様子を配信
 - ② グランプリ1校、準グランプリ1校、特別賞4校
 - ③ **アドバイザー**、特別審査員等が審査
- エントリー校は、全て審査員によるフィードバック
- 広報誌「地学協働」に掲載

令和6年
2月16日
(Fri)

1次案内

北海道地学協働アワード
2023

学校と地域の優れた協働体制を構築している学校を表彰!!

【対象】道内の公立の高等学校、中等教育学校(後期課程)、特別支援学校(高等部)

① 申込期限
12月1日(金)

② 予備審査(1月中旬)
※6校程度を選出

③ 発表会・本審査
令和6年2月16日(金)

○学校と地域における地学協働体制の構築○

<観点①>教職員意識と校内体制
<観点②>地域住民による教育活動への参画と協働体制
<観点③>地域課題を解決するための多様な活動
<観点④>学校や生徒、地域の変容
<観点⑤>学校教育目標やスクールミッションの達成度

<審査方法>
学校と地域の協働体制の構築を5つの観点で審査します。
※学校の自薦による応募となります。

参加校全ての取組に審査員によるフィードバック

グランプリ校をはじめ、参加校全ての取組を広報誌「地学協働」に掲載

当日は地域や保護者の方も発表・表彰の様子を視聴することができます!!

QRコード

<申込・問合せ>
北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係
Tel 011-204-5744(直通)

【留意事項】
(1) 参加に当たって、学校運営協議会の設置の有無は問いません。
(2) 参加に当たって、他の名称やコンクール等の重複は問いません。
(3) 提出したい資料、写真、動画等については、北海道教育庁生涯学習推進局の広報等ホームページに掲載されていますので、あらかじめ御確認ください。YouTubeチャンネルもご覧ください。
(4) 入賞した際は、各報道機関から、取材等の要請がある場合がありますので、可能な限り御協力願います。
【主催】北海道教育委員会

1 生涯学習推進局社会教育課

令和5年5月25日付け各校及び市町村教委へ発出

1 道教委の地学協働について

■地学協働に関わる主な道教委の取組

- 地域と学校の連携推進協議会（石狩、上川、日高、根室）
- 放課後活動推進協議会（空知、留萌、檜山、十勝）
- コーディネーターミーティング（本庁）
- 北海道地学協働研究大会
- 北海道地学協働アドバイザー派遣事業
- 広報誌「地学協働」
- 学校図書館担当職員講習（道教委独自）

2 協議（グループ協議）

■グループ

- A・Bのブレイクアウトルーム
- 構成員4名ずつ、アドバイザー2名ずつ
→進行（A森、B国枝）

■テーマ

「地域における地学協働体制を構築するための方策について」

■協議の大筋

- ①地域における現状把握（共通点や課題の抽出）
- ②解決のための方策

2 全体交流

- 各グループでの協議を全体で共有





お疲れ様でした。
御出席いただきありがとうございました。

